

県南広域振興局長

提出者 ニッコー・ファインメック株式会社

住所 岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6

氏名 代表取締役社長 小野寺 真澄



(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

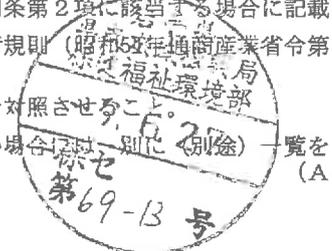
主たる工場又は事業場の名称	ニッコー・ファインメック株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県一関市千厩町奥玉字天ヶ森75-6	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	452 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	64 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		k0
		k0
		k0

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和52年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合は、別紙（別添）一覧を作成の上、添付してください。  
4)



別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R6年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出		燃料使用量対前年度比(%)
	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	10 ( 7 )	13,354 ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	30,580.7 kg-CO <sub>2</sub>	97.9%
軽油	50 ( 1 )	432,024 ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	1,131,902.9 kg-CO <sub>2</sub>	119.1%
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	4 ( )	2,627.31 kWh	0.402 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	1,056.2 kg-CO <sub>2</sub>	159.8%
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	64 ( 8 )			1,163,539.8 kg-CO <sub>2</sub>	118.5%

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

※ 電気の使用量に関しては48V-485Ahの容量と充電頻度により算出した概算数値

$$485\text{Ah} \times 48\text{V} \times 0.7(\text{充電量}) \times 52\text{週} / (0.85(\text{充電効率}) \times 1000) = 996.93\text{kWh}$$

$$565\text{Ah} \times 48\text{V} \times 0.7(\text{充電量}) \times 52\text{週} / (0.85(\text{充電効率}) \times 1000) = 1161.37\text{kWh}$$

$$565\text{Ah} \times 48\text{V} \times 0.7(\text{充電量}) \times 21\text{週} / (0.85(\text{充電効率}) \times 1000) = 469.01\text{kWh}$$

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

環境事業部 2024年度原単位: 目標0.0461 結果:0.0483t-CO<sub>2</sub>/t(5%上乗せの許容値クリア)

メディカル事業部 2024年度原単位: 目標0.0910 結果:0.1081t-CO<sub>2</sub>/t(5%上乗せの許容値オーバー)

帰りの利用による実車率改善など効率的な運搬を推進し、ルート統合や帰りの活用により車種ごとに設定した実車率をクリアした。しかし、関東便の増加や、主要な医療機関での廃棄物量減少などの影響があり、新規営業によるカバーが及ばずに前年度より原単位は悪化した。

今後も関東便の帰り荷や液物の効率的な運搬を検討し、引き続き実車率の向上による効率的運搬を推進し、運搬効率の改善を図る。

【具体的な取組状況】

- 回収前や荷下ろし後の空車を利用し、運搬効率を改善する。
- 適切な車両整備による維持管理で燃費の向上を図る。
- 新規導入や入れ替えの際には電動車等、燃費の良い車両を選択する。
- 営業により運搬量を増やすことで効率の良いルートを作る。
- デジタコを使用し、エコドライブの徹底を図る。

備考 主に次のことを記載してください

- ・エコドライブの取組(駐車時のエンジン停止、急発進や急加速の抑制等)
- ・輸送方法の合理化に関する取組
- ・電動車(ハイブリッド自動車、電気自動車等)の導入
- ・輸送業務以外での自動車利用の抑制に係る取組

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

- 電力の購入先を二酸化炭素排出係数の低い電力会社に変える。
- EA21を運用し、省エネの継続的な取り組みを推進する。
- 植樹や川の清掃など、地域の環境活動には積極的に参加する。
- SDG'sなど、社会のニーズや環境問題等の継続的な教育による環境配慮への意識付けを行う。